

葛飾区少年の主張大会が 開催されました

令和元年11月16日(土)、かつしかシンフォニーヒルズエアリスホールにおいて、応募総数429人の中から選ばれた小学生18人・中学生8人、計26人が、それぞれの主張を発表しました。結果は次のとおりです。

■小学生の部

最優秀賞

木村 真那(葛飾小6年)

「友だちとは」

土井 陽花(川端小6年)

「あいさつは幸せの種」

優秀賞

大島 莉央奈(綾南小6年)

「チャレンジ!」

松本 直汰郎(青戸小6年)

「普通とは何か」

頼所 遙久(上平井小6年)

「正確な判断を」

藺田 智美(住吉小6年)

「高齢化社会への心構え」

澤田 彩邑(幸田小6年)

「清潔で住みよい街づくり」

入選

伊藤 佑真(東綾瀬小6年)

高橋 智壮(上千葉小6年)

金 智英(道上小6年)

進藤 歩実(松上小6年)

小河原 麗(南奥戸小6年)

大森 春空(高砂小6年)

松本 亜子(柴原小6年)

住吉 拓己(末広小5年)

■中学生の部

最優秀賞

齊藤 亜純(桜道中2年)

優秀賞

横山 真白(二之台中2年)

「自分という特別」

藪崎 友里(常盤中2年)

「笑顔であいさつ」

入選

福永 裕未(小松中2年)

長谷川 遥(奥戸中3年)

佐藤 芽伊(大道中3年)

菊地 大樹(桜道中3年)

細谷 笑里(葛美中1年)

(敬称略・同一賞内の順番は発表順)

地域教育課 ☎ (5654) 8482



中学校の部・最優秀賞

シンデレラガール

桜道中学校 二年 齊藤 亜純

私はこの夏、二十四歳のみわさんという素敵な女性に出会いました。みわさんは過去にとっても辛い経験をしたため、「人を信じるのが難しい」と語っていました。みわさんに生活の変化が訪れたのは六歳の時だったそうです。クリスマスパーティーだと言われて連れていかれたのは児童養護施設。遊びに来たはずのその場所は、それから八年以上母親と離れて過ごす場所になったのでした。施設内では子ども同士でのいじめもあり、母親と引き離されたショックも大きく、不安な気持ちを沈めるために自傷行為に走ってしまふこともあったそうです。今でも手首にはリストカットのあとが残っています。そんな想像もつかないような過去をもつみわさんが発した一言が私の心に突き刺さりました。その言葉が発せられたのは、小学一年生の男の子の母親からの相談に対する返答の場面でした。「お母さんなんか信用してないから。」と子どもに言われショックを受けたお母さん。そんなお母さんにみわさんが優しく声をかけました。「お母さんのことを信用しているからこそ、信用してないってのは信じることのできない苛酷な環境で育ってきたみわさんの言葉だからこそ、余計に重みを感じられませんでした。また、みわさんのような辛い過去をもつ子ども達は皆、「信用・信頼ができる大人が必要だ」と口をそろえて言っていました。

では、信用・信頼とは何なのでしょう。信用という言葉は辞書で引いてみると、「過去の事柄から信頼できるものと認めること」とできます。それに対し信頼は、「いざという時に頼ることができると信じること」とできます。つまり、信用は過去の実績から信じることで、信頼は未来に期待することなのです。そう考えると、信用と信頼のどちらもなくてはならないものだと感じました。

私は今年の六月に足を骨折しました。夏休み中もギブスがとれず、不自由な生活でしたが、そんな生活だからこそ実感したことがあります。ケガをした日には、足を痛めて帰ってきた私に、母が冷水を用意して足を冷やしてくれたり、外出していた父も、急いで帰ってきて病院まで私を連れていってくれたり、数えきれない程に私の身の周りを気づかってくれました。それなのに、やつてもらっていることに感謝もせず、親に悪態をつき、ふて腐れてばかりいました。しかし、それは自分の親に反抗しても見捨てられないと信頼している、信用できる大人がいるという恵まれた環境にいるからこそです。そう考えると、私が当たり前だと思っていた生活は、決して当たり前ではなく、むしろ恵まれたものだったと痛感し、親と一緒に暮らせていることはありがたいと幸せなことなのだと思ってきました。けれども、社会的養護を受けている子どもにとっても、これは当たり前ではありません。どれだけ家事や勉強を頑張っても、大人の事情で親と一緒に暮らせない子どもが大半なのです。だからこそ、親と一緒に暮らせている恵まれた環境に感謝し、今一緒に住んでいる家族を大切にしようと思えました。

全ての人間は幸せになる権利をもっています。人によって幸せの形は違うかもしれませんが、私が今、人のためにできることも多くはないと思います。しかし、大人になって信用できる、信頼される人間になることはできます。大人になつたみわさんは今、自分のように辛い思いをする子どもを一人でも減らせるように活動を始めています。そして、みわさんにとつての王子様と出会います。まさにシンデレラのようなと思いませんか。私も大人になったら、みわさんのようなしっかりとした考えやタフな精神力、優しい心をもち、かつ人のために尽くせる実行力のある大人になりたいです。